

生横濱

今思うこと

私は佐々木明信、晴美の6人兄弟の末っ子で五男として生まれました。そして生後すぐにマイクロバスに布団を敷いておぢばがえりをしたと聞かせていただいています。幼稚園の頃もよく父母に連れられておぢばがえりをしてきた記憶があります。

小学校に上がってからは友達を家に呼んで遊んだり、こどもおぢばがえりも一緒に行ったりと、友達をごく自然に誘うこと

立教188年
6月号
(通算第292号)

発行者
天理教生横濱分教会

ができていました。しかし大人になると、気軽に誘うのも難しくなり、またいつかそのように誘えるようになるかというと思っ

ています。

小さいころから私の周りには沢山の方がいました。両親をはじめ5人の姉とそのパートナー、また増田さんをはじめいろんな信者さん方。それらの方々に小さい頃からすごく可愛がってもらっていたという記憶があり、楽しく成長させていたのだなと感じています。改めて感謝申

し上げます。

小学生の頃、友達と近所の竹藪でスーパーマンごっこをして遊んでいた時の事。風呂敷が引っ掛かってしまつて竹の切り株で頭を切つてしまい、血だらけになつてしまいました。その日は両親がおぢばに行つていたので病院にも行かずそのまま寝ました。次の日に病院に行つて診てもらうと血は止まつていて、2針縫うだけで済むという御守護を頂き、すごいなあと思うと共に、それは両親がおぢばに繋がってくれているからなんだととてもありがたく思いました。

また、教会のお祭り日に友達とゴルフ遊びをしていた時のこ

とですが、目の前にいる友達がゴルフのスイングをした際に、そのクラブが目にあたつて、目がぼっくり切れて、目玉が見えてる状態になりました。それを前会長に見せると「大丈夫だよ。」とおさづけを取り次いで、御息の紙を張っていただき、病院なんか行かなくていいと言われたのでそのままにしていると、傷が塞がってちゃんと見えるようになり、これも御守護を頂いたんだと感じました。

私も大人になり、道恵という奥さんをいただきました。3人の子供も授かって順調に育ち、さらにその子供が結婚して孫まで見させていただき

ました。心が出産するときには孫が五体満足で生まれてきてくれるかどうか心配で、無事に生まれてきてくれた時はとてもありがたいなど、感謝の気持ちでいっぱいでした。



仕事の都合でなかなか教会に来ることができないので、仕事場でできるおたすけはな

んだろうかと考え、先生たちの愚痴を聞いてあげようと思いましたが、愚痴を聞いてあげて少しでもその人の心がスッキリしてくれたりいいなと思います、仕事終わりに先生と飲みに行つて愚痴を聞いたりしています。そこで「愚痴」という言葉の意味を調べてみると、『今となつては言つてもしかたがない事を、言つては嘆くこと。』で、嘆くとは『憂え悲しむ、憂え憤慨する。』こと。憂えとは、『未来や可能性に対する心配や不安、または不吉な予感を抱く状態』を指します。愚痴を聞いてあげること、その人の心のつかえを和らげてあげられたらいいなと思つています。

週末には園児のパパにサッカーを教えていて、そのなかで捻挫や肉離れなどケガをすることがありますが、歩けなくなってしまう所を歩ける程度のケガで済んでよかったなと思います、教会に参拝に来るときに神様にありがとうございますとまずと伝えるようにしています。そのようにちよつとしたことでも日々感謝しようと努力をしています。

天理教で好きな言葉は「水を飲めば水の味がする」です。その言葉をAIに調べてもらいました。AIの概要によれば、「『水を飲めば水の味がする』は、天理教の教祖である中山みきの言葉で、困窮す

る人々への慈悲と、恵まれていたことに感謝する心を教える言葉です。意味は困窮する状況でも、現実の恵みに感謝し、与えられたものに満足する心を持つこと。水は水、等しくそのありのままの味を味わうこと。過度に欲求を持つことなく、現状に満足し、感謝する心を持つこと。「そして、その背景に「天理教の教祖が自身の家には食料が少なくなり、困窮する人々への施しを続ける中で、ご自身の子様に諭された言葉として知られています。この言葉は、貧しさのどん底に落ちきられた教祖の体験を反映しており、感謝と満足の心の重要性を説いています。現代での意味は

どんな状況であっても、与えられたものに感謝し、現状に満足する心を持つこと。過度に欲求を持つことなく、目の前のことに感謝し、幸せを感じることに感謝し、幸せを感じること。物欲に囚われず、心の豊かさを大切にすること。」という形で出てきて、日頃のちよつとしたことに感謝しないといけないと感じます。



幼稚園の給食は多めに作られた分が余ることがあり、その余りは先生が食べるのですが、美味しくないので食べたくないという先生をよく見ます。でも美味しくないので食べないのではなく、ご飯があるのだから頂かないといけないと思って、私はその場でいただいたり、家に持って帰っていただくようにしています。

教祖伝に「世界には、枕もとに食物を山ほど積んでも、食べるに食べられず、水も喉を越さんと言うて苦しんでいる人もある。」とあるように、世界には食べ物のない方が実際にたくさんいます。だから、「そのことを思えば、むしろは結構や、水を飲めば水の味がする。親神様

が結構にお与えて下されてある。」という言葉を忘れずに、日々感謝しなければいけないと思っています。



先日雨の日にコンビニに行つた際、自動ドアのところまで足ふ

きマットで靴裏を拭いてから入ると、モップ掛けしていた店員さんが私に向かって「ありがとうございます。」と言いました。店内が濡れないように靴を拭いてから入り、それを見た店員さんが感謝をする。このようにみんなが気を使い、それに対して感謝をするという生活が送れたらいいと思います。そして悪いところばかりを見るのではなく、良いところを見て、感謝の気持ちを実際に言葉に出すということがとても大事なことで感じています。

佐々木 崇徳

ご報告

・おぢばがえり

5月のご本部月次祭に団参というわけではありませんが、複数人で帰らせていただき、充実したおぢばがえりが出来ました。



・ようぼく一斉活動日

5月31日にみなと支部のようぼく一斉活動日を神奈川教務支庁にて開催させていただきました。

今回は本永須賀分教会の永井崇教会長の講話を聞かせていただき、おやさまをより身近に感じることが出来たと思います。

・kitchenめんどう

5月17日に子ども食堂・フードパントリー、6月8日に初夏祭りを教会にて開催させていただきました。



・マルコスさん滞在
5月24日から6月7日まで、ブラジル国籍のマルコスさんが教会で生活されました。

朝夕のおつとめから神殿掃除、ごみ拾いひのきしんなど一緒にさせて頂きました。

これからも教会に参拝に来るそうなので、もし見かけたらどうぞ声をかけてあげてください。



お知らせ

・支部一手一つひのきしん

6月28日は東希望が丘第四公園周辺のごみ拾い、7月6日は天理ビル周辺のごみ拾いのひのきしんがあります。

お時間がある方はどうぞご参加ください。



・Kitchenまんぢん

6月21日はフードパントリー、7月5日は子ども食堂・フード

パントリーを教会で開催させていただきます。

・教祖百四十年祭団参

来る1月26日はおやさまの百四十年祭がご本部にて執り行われます。

団参の詳細はチラシを用意していますのでご確認ください。

どうぞ今から予定を空けていただいて、皆揃っておやさまにご挨拶申し上げたいと思います。



今月の予定

11	7		6	5	3	1	7	29	28	26	23	22	21	16	15		11	6
日	日		日	日	日	日	月	日	日	日	日	日	日	日	日		日	日
生横濱月次祭	比企家講社祭	太田家講社祭	邦明家講社祭	支部ひのきしん	こども食堂	生旭月次祭	御霊祭	教区総会	支部ひのきしん	ご本部月次祭	大教会月次祭	康靖家講社祭	フードパントリー	上級月次祭	雅敏家講社祭	益元家講社祭	生横濱月次祭	

立教百八十八年五月月次祭祭文

護しが心何取て齊なたにはさで再会神わんり一今にま持親りぐ表旬親慎天この
のの`を卒りま活行だお各れのスが奈せでおつかおすち神がらに刻神ん理れ
程世心も`組い動事き連地た最夕所川てつ教にら許が場様たしお限の様で王の
をの晴つ至まり日はまれで全初し属教いとえ揃おし、`教くへ現のに申命神
一状れてらせまで今し通合教のトし区たためいえつそ立祖、とれ到は、上御にお
同にやおぬてしす月たり計一大すてでださたてとたの場の親体導なり共、世界一す。天
と`か連私いた。三。頂七齊きるいはきせだ親めだ中の親心なきり共、に、れ。理
共一にれたた。残十あい名ひなこる四まてい神奉いに御心にい極さいた、教
に日睦通ちだ最さ一りてがの行と保月す。たおの者定今に添わみでございませ、
慎もみりでき後れ日がい参き事に土一。だつ心参め日勤めていませ、御慈愛の程は、誠、
ん早楽いはたまたのとり加しがなヶ日。きとと拜ののめをせいで、私共は、誠、
でお立むだざと与祭祖ご謝せ去ま支支、め一者日吉励ませていだける。心は、誠、
願て、きい存え活百ざのてしるし部部、五をつ一柄きませ、た、だ、心、
い変神、まじら動四い心いで四たは再、月真に同に日せ、月、に、れ、吸、た、こ、の、だ、う、心、が、け、日、々、
申わ人世す。御も祭たとき。め、当九み支わ、祭つよ合まの、名、の、称、て、お、け、日、々、
上ま楽一、御用少う次さ日教日な部れ、を陽うわすの、称、て、お、け、日、々、
上げすのれ大、になう次さ日教日な部れ、を陽うわすの、称、て、お、け、日、々、
ます。う気の人、杯、つ、一、き、い、構、ら、施、部、て、教、行、勇、よ、を、只、理、り、

祭典役割

Table with columns for roles (祭主, 扨者, 贊者, 指図, 献饌, 役割, 地方) and names (e.g., 佐々木雅敏, 比企靖章, 藤原彩子).

兵神大教会

教祖140年祭 年祭活動の方針



教祖のひながたを手本に 『明るい心』で通りきろう

【実践目標】

一、身上おたすけ

身上のたすかりを願って動き、
親神様・教祖のお働きをお見せ頂こう

一、人だすけ

人のたすかりのために自分の時間を使おう

後編 記集

皆さまこんにちは。

やっと梅雨の時期がやってきました。数年前のこともおちががえりでは雨が降らずプールの水が張れないときがありました。雨もありがたいと思える御守護ですね。

つい先日、マルコスさんというブラジルの方が教会で数日間過ごされました。日本語もよくわからない方が急に教会に来て、おちががえりをし、教会生活を送るのはとても大変だったと思いますが、日に日に参拝などの神様に向かう姿勢が様になっていき、当たり前のようにハッピを着ておつとめ、神殿掃除をする姿はとても神々しく思いました。教会に新鮮な風が吹いたような気がして、とても気持ちが良いです。皆様もぜひ教会に足をお運びください。

佑人